

政治にはそこそこ関心があっても、選挙カーに乗ったり、チラシを配ったりなどの現場の選挙活動にはまったく興味もない。父親が出馬した町議選のときは**私が海外に行つて金髪・ブルーアイとイチヤツいてくれた方が世のため、選挙関係者のため**と言われる始末である。こんな小さな町でも町議選ともなると数百万円というから、35歳くらいの公務員の年収が1カ月間で動くのも普通である。父は名譽職以外の何物でもなく、金銭的には全くメリットはないと言っていた。

ある町議が連続当選を目指していたが、1日で聖徳太子（当時）が横になつても倒れなくなる状態になると、どこで聞いたのか、そんな事例を枚挙に暇がないくらい扱ふ国家権力から注意ともファイナル・コールにもとれるお言葉を拝聴することになる。その町議候補の息子が出入りしているある商店で、同じく出入りしている町の裏事情をよく知る人に「あまり派手にやるとさすがに動くからね」と。話はグルット回つて連続当選を目指すご本人の耳に入ると、さすがにビビることになる。やはりお金を使うのは人を信用してない証のようにも感じる。

この地方ではこんな感じだが、**十勝の事情は**少しどころか全然

違うようだ。ある方が「そのような金を使うような候補者は人徳がないから当選しない」と言い切る。選挙期間も忙しい4月下旬である。春作業で忙しいので**人が集まっても政事が祭りにならない**ように自制できているのだ。ちなみに長沼の選挙はまだ祭事ができる雪深い2月20日ころである。この違いを知らない地元民は幸せなのであろう。

選挙結果の読みも大切なようだ。建前、手弁当ということになっているが現実はそのほかはない。選挙参謀なる人物が「こんなはずでは……」とホゾをかまさないように人の出入りをチェックして、推定の票読みを候補者に報告することになる。その結果、誤差が5%程度になると、さー大変。候補者の努力なのか、国家権力が及ばない暗部の話なのか、それとも選挙参謀がすごいのか……。

どちらにしても細胞数は多くてもそれを格納するスロット数不足の私には理解できないので、この期間には事前投票を済ませ、極寒地に逃避す

Vol.72 私は本当にいい人なんです



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月中退後、農業を継ぐ。子供時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。年商約1億円。

ることになっている。

国政選挙のときは、父の同級生が大臣経験者で、その後を継ぐことになった私と歳も同じ彼の息子に清き一票を投じようかという程度の積極性なのだから、政治に何かを期待する勘違いの度合いを示すメーターは左手を広げたときの小指の位置程度で下がりっぱなしだ。ん？ **俺は50歳でまだ人差し指の位置だつて？**

オレにも 言わせる!

北海道長沼発 ヒール宮井の憎まれ口通信

危機対応に長けたリーダー

そして、今年2月に行なわれた東京都知事選挙は北海道のフルフラットになるカウチから踏ん返り返って拝見させていただいた。基本的には他人事ではあるが、ちょっと見方を変えれば日本の文化、良識、伝統、海外から見ると、**日本そのもののブランド評価が決まり、首都のトップを誰にするのかを決める選挙**なのだから、世界中が注目することになるのは当然である。

あまたの候補者のなかでもやはり将来性があり、リーダーとして現実的中道路線しての伸びしろがある、身の丈162cm、御年65歳の**田母神俊雄**さんは魅力ある人間に感じた。選挙も終わって、今は一般人になり、候補者でもないのだから、これから応援するというのは遅すぎる感もあるが、直接、北海道の知事選とは直接は関係ないので、とりあえず選挙妨害や選挙違反には問われることはないだろう。

田母神さんの経歴については多くを語る必要はあるまい。ある懸賞論文の発表で、あの千葉選出のハマコウ・ジュニア、元浜田靖一防衛大臣の命令で職を解かれ、航空自衛隊のトップから一般人になった人だ。彼

の発言は大胆で驚くこともあるが、現実に関ここで起きている危機に対応可能だと感じられる話でもある。

例を挙げてみる。「日本は核武装すべきだ、最初から核武装しないというのは馬鹿げている」。これは広島市の支持者から招待を受けて8月6日に過去4回、あの原爆が落ちた町で発言している。核武装をしたら、どの国からも軍事的、政治的な威嚇を受けることはなくなるとの主張である。確かに今までいがみ合っていたインドとパキスタンの両国はそれぞれの核実験後から無鉄砲なドンパチは少なくなったと聞く。

「武器は国内開発しなければならぬ」。現実にはタイ、台湾、韓国、フィリピンなどの国々とは共通の弾丸、航空の運用方法で、その周波数はすべて米国と同じである。

このようなこともあったようだ。米国は軍事用GPSの運用コードを変更して、湾岸戦争のときに同盟国である英国に長距離ミサイルを撃たせることを防止したと聞く。もし、英国がミサイルを撃ち、英国の影響力が残存された場合、戦後のイラクの権益を目指す米国の利益にならないからだ。

日本には、田母神さんの専門分野である米国製のペトリオット・ミサイル基地が空からの攻撃に備えて、

北は地元、長沼から沖縄まで全国に24の高射隊がある。イザとなったとき、米国がGPSの運用コードを変更したら、どこに飛ぶかではなく、発射すらできないことになるのは日本の国益にならないから、国産武器を造るほうが、農産物を輸出することと同じく国益にかなうのである。

今回、この田母神さんのことを書く前に航空自衛隊関係者に話を伺った。誰もが田母神さんの悪口を言わないし、聞いたことがないそうだ。

その航空自衛隊員は面白いことを言った。班の中で**出来の悪い奴がいたら、そいつをリーダーにするとうまくいく、らしい。**

例えば、操縦がイマイチのパイロットに作戦立案などの文章の作成や操縦に関する責任を一任させると班として意外に上手くいくそうで、田母神さんも同様のことを発言している。この話を長沼に当てはめると……
「そ、そんな馬鹿な！」

それにしても「**私は本当にい人なんです**」と何度も言うので、確かめることにした。ときは都

知事選の真最中の2月4日午前11時、場所はJR大塚駅前。デヴィー夫人などの発言が終わると、田母神さんが選挙カーから降りてきた。すると私の方に歩み寄ってくるではないか。私は「応援しています」とか

何とか言って、確か両手で彼の右手を握った。数秒で手を放そうとする田母神さんの左手が私の左手を握り返し、なかなか私の左手を放そうとしないのだ。おい、オイ、案外冷たい手だなと考えること5秒くらいかな？ やっと田母神さんは私の手を放した。気になったのでその後、数分間彼の行動をツブサに観察してみたところ、私のように左手で持ち替えて余韻を楽しむのは長くて2秒程度だった。

ナニか？ **田母神さんはヒール・ミヤイが気に入り、あつちの趣味もあるのかと勘違いさせる魅力もある。** 応援団のお

ねーたま達も良かった。しかしなんだね、志がまともな女子は化粧気がなくとも美しさを感じたのは私だけではないはずだ。もし、身近に田母神さんのような方がいたら、大和撫子で満足したのであらうかと思っくらいだ。東京町田に住む弟や吉祥寺に住む妹に「田母神さんをよろしく」とメールを入れたが、弟からの返事はなし、甥っ子からは「泡沫候補でしょ?」妹からは「誰それ?」なんだよ、それ。盛り上がっているのは俺だけか?

ところで、金髪・ブルーアイと大和撫子のどちらが好きかって? そりゃ決まっているでしょ♡